

薬 第 3 2 8 0 号
令和 2 年 2 月 2 6 日

外部研修実施機関 代表者 様

大阪府健康医療部長

登録販売者に対する外部研修の実施報告について（依頼）

日頃から、本府健康医療行政にご理解、ご協力をいただきお礼申し上げます。

標記について、「登録販売者に対する研修の実施について」（平成 29 年 8 月 24 日付け薬生総発 0824 第 1 号厚生労働省医薬・生活衛生局総務課長通知）に基づき、本府では登録販売者に対して適切な外部研修が行われていることを把握するため、「登録販売者に対する外部研修の実施報告について」（平成 30 年 1 月 30 日付け薬 2079-2 号）にて、本府へ届出のあった外部研修実施機関に毎年の研修の実施方法、実績等の報告をお願いしているところです。

今般、別紙様式のとおり報告様式を作成しましたので、毎年 4 月 10 日までにこの様式を用いて、前年度の研修実施内容を下記宛先まで報告してください。

なお、本通知は下記アドレスにも掲載しております。

記

【報告先】

〒540-8570
大阪市中央区大手前2-1-22
大阪府健康医療部薬務課 医薬品流通グループ

【大阪府健康医療部薬務課ホームページ】

「府民及び事業者のみなさんへ：各種通知：平成 31 年度（2）」

http://www.pref.osaka.lg.jp/yakumu/tuuti/h31_2.html

【問い合わせ先】

健康医療部薬務課
医薬品流通グループ 吉田
TEL 06-6944-6360
FAX 06-6944-6701
Mail yakumu-g22@sbox.pref.osaka.lg.jp

登録販売者の資質の向上のための外部研修実施結果報告（令和 年度分）

大阪府知事 様

外部研修実施機関名：
 代表者：
 所在地：
 担当者：
 連絡先：

令和 年度の登録販売者外部研修を以下のとおり実施しましたことを報告します。

①外部研修実施機関	名称	
	所在地	
②実施回数		
③実施年月日※1		④受講者数
⑤受講者数※2		
⑥実施した研修の概要 ※3		

※1：複数回実施している場合は、実施期間でも差し支えありません。例：R2.5～R2.12

※2：大阪府内で従事している者で、上記研修において修了証を発行した人数

※3：研修の概要がわかる資料の添付でも差支えない。ただし、以下の項目を満たしていること。

- ・実施場所
- ・時間割（計12時間以上を満たしていることが分かればよい）
- ・講義（集合研修）のカリキュラム（ガイドラインを満たしているかが明確にわかるようにすること）
- ・遠隔講座・通信講座のカリキュラム（遠隔講座・通信講座を実施した場合のみ）

記載例

登録販売者の資質の向上のための外部研修実施結果報告（令和 年度分）

大阪府知事 様

外部研修実施機関名：〇〇〇〇〇〇〇〇〇
代表者：〇〇 〇〇
所在地：〇〇県〇〇市〇〇区〇〇 △△△ビル 〇階
担当者：〇〇 〇〇
連絡先：XX-XXXX-XXXX

令和 年度の登録販売者外部研修を以下のとおり実施しましたことを報告します。

①外部研修実施機関	名称	大阪府立登録販売者研修センター
	所在地	大阪府〇〇市〇〇区〇丁目〇番〇号 〇〇ビル
②実施回数	7回	
③実施年月日※1		④受講者数
令和1年6月1日～令和1年7月31日		200
令和1年11月10日		85
令和2年1月15日		70
令和2年2月10日		35
⑤受講者数※2	360	
⑥実施した研修の概要 ※3	別添資料のとおり	

※1：複数回実施している場合は、実施期間でも差し支えありません。例：R2.5～R2.12

※2：大阪府内で従事している者で、上記研修において修了証を発行した人数

※3：研修の概要がわかる資料の添付でも差支えない。ただし、以下の項目を満たしていること。

- ・実施場所
- ・時間割（計12時間以上を満たしていることが分かればよい）
- ・講義（集合研修）のカリキュラム（ガイドラインを満たしているかが明確にわかるようにすること）
- ・遠隔講座・通信講座のカリキュラム（遠隔講座・通信講座を実施した場合のみ）

講義(集合研修)

第1回

開催日	令和〇年〇月〇日		
開催場所	〇〇会館		
研修内容	カリキュラム	ガイドライン該当箇所	時間割
	循環器系の基礎知識	②	9:00~10:00
	一般用医薬品のリスク区分の変更について	⑤・⑥	10:05~11:05
	情報提供や相談応需の義務について	④・⑦	11:10~12:10
	胃腸薬に使われる漢方	①・③	13:10~14:10
	便秘時の一般用医薬品について	②・③	14:15~15:15
	確認テスト・採点	—	15:30~16:30
			計6時間

第2回

開催日	令和〇年〇月〇日		
開催場所	△△ホール		
研修内容	カリキュラム	ガイドライン該当箇所	時間割
	免疫系の基礎知識	②	9:00~10:00
	一般用医薬品のリスク区分の変更について	⑤・⑥	10:05~11:05
	情報提供や相談応需の義務について	④・⑦	11:10~12:10
	かぜ薬と点鼻薬の併用	①・③	13:10~14:10
	水虫の発生部位・特徴・水虫薬の使い方	②・③	14:15~15:15
	確認テスト・採点	—	15:30~16:30
			計6時間

遠隔講座・通信講座

(※遠隔講座・通信講座による研修を行う場合は、その時間数が講義(集合研修)の時間数を超えないこと。)

		ガイドライン該当箇所	時間数
1	滋養強壯剤	①	1
2	ホルモン系の基礎知識	②	1
3	カフェイン離脱頭痛	③	1
4	薬機法改正について	④	1
5	副作用救済制度	⑤	1
6	一般用医薬品のリスク区分の変更	⑥	1
7	情報提供や相談応需の義務	④・⑦	1

以上